



### 6月を振り返って

6月の教職課程センターは、論文添削指導、集団討論練習、教育実習のサポートなどを中心に活動を行ってきました。特に教育実習は現場の「リアル」を知るうえでとても重要な体験になったと思います。昨今「教職はブラック」という風潮が強まっていますが、どんな仕事に就いたとしても社会人として自立していく以上苦勞はつきものです。皆さんが目指している教師は、人生の先輩として子どもたちの可能性を開花させられる、とても素晴らしい職業です。私は、そんな教職の魅力は苦勞をはるかに上回るものと考えています。是非とも子どもたちの「記憶に残る」教師になってください。そんな皆さんの頑張る姿を全力でサポートしていきます。

### 7月の予定

関東地方の自治体は7月10日（日）が教員採用選考の1次試験日です。もうすでに試験対策準備は進んでいることと思いますが、直前は新しい問題をやるのではなく、既習事項の復習と確認を中心に行ってください。そして一番大切なのはコンディショニングです。毎朝決まった時間に起きて、朝食もしっかりと摂ってください。「早寝早起き朝ごはん」は皆さんにも当てはまります。12日（火）からは個人面接練習を始めます。こちらもできるだけ本番の面接に近い設定で行いますので、積極的に参加してください。とにかく「面接」という特殊な環境に慣れておくことが大切です。今月号の記事にも書きますが、しっかり自己アピールできるように準備しておきましょう。

### 今年度の面接選考について

東京都	8月20日、21日、27日	集団討論	個人面接			
神奈川県	8月8日～20日	模擬授業	個人面接			
埼玉県	8月7日～21日	論文試験	個人面接	集団討論	集団面接	適性検査
千葉県	8月19日、20日、21日	個人面接	模擬授業			
横浜市	8月中旬～9月中旬	論文試験	個人面接	模擬授業		
川崎市	8月23日～9月16日	個人面接	場面指導			

（自治体によってさまざま 必ずHP等で確認すること）

### 集団討論の流れ（東京都）

- 開始時刻まで待機室で待ちます。この待機室で座った横一列のメンバー5人が一緒に面接を受けるメンバーです。（AさんBさんCさんDさんEさん、と呼び合うよう言われます）
- 入室し荷物を置いて着席すると、最初に面接官からメモ用紙が一枚配布されます。
- 面接官から面接（討論）のテーマが発表されます。テーマの候補は事前に東京都教育委員会から告知されます。（次ページ参照）
- 告知後に、受験生がテーマについて各自の意見やそれを実現するための具体的な取り組みを考える時間が2分間与えられます。
- 2分後、テーマに対する意見を90秒以内で発表することを要求されます。発表順は挙手制で、準備ができた受験生から手を挙げて発表します。
- 全員が発表し終わったら、発表した内容について話し合いを始めます。司会進行役を決めることもあります。
- 約20分間司会役の受験生を中心に、テーマ（課題の解決策）について話し合いを行います。面接官はその間話し合いの様子を観察し、受験生を評価します。
- 話し合いがある程度まとまり、終了時刻の30分に近づいたら集団面接は終了です。

## 集団討論のテーマ候補（東京都）

- 自己肯定感を育てるためどのように取り組むか
- 自尊心を身に付けさせるには
- 責任をもって役割を果たす態度を育成するには
- 主体的に学習に取り組む態度を育成するには
- 確かな学力をつけさせるには
- 基本的な生活習慣を身に付けさせるには
- 他人を思いやる心を育てるには
- 生命を尊重する心を育てるには
- 学びに向かう力を身に付けさせるには
- 基本的・基礎的な知識・技能を習得させるには
- 良好な人間関係を築く力を身に付けさせるには
- 役割と責任を果たすことができる態度を育成するには
- 社会に貢献しようとする意識や態度を育てるには

- 豊かな言語能力を育てるためには
  - 情報活用能力を身に付けさせるには
  - 情報モラルに関する意識を高めるには
  - 社会性・規範意識を身に付けさせるには
  - 積極的に社会参画できる力を育てるには
  - 望ましい勤労観・職業観を育成するためには
  - 社会的・職業的自立をさせるためには
  - 持続可能な社会の担い手に育てるためには
  - 教科横断的な指導を行うには
  - コミュニケーション力を身に付けさせるには
  - プレゼンテーション力を身に付けさせるには
  - 「深い学び」を実現させるためには
- などが考えられます。（その年の4つの候補テーマは事前に知らされます）

## 集団討論の評価規準（面接官がチェックしている項目！）

- 「協調性」 他者の意見を否定せず、受け入れながら自分の意見を述べているか。
- 「積極性」 他者の意見を受け止めて、さらにより良いものにしようとしているか。
- 「教職への理解」 テーマに関して深い考察ができているか。
- 「人柄・人間的魅力」 明るく前向きな発言か、熱意・使命感が感じられるか。
- 「職務遂行力」 正しい判断で、適切な指導ができるのか。 等です。

集団討論で同席した受験生は、決して「敵」ではありません。お互いに協力してより正しい解決策を導き出していく「仲間」です。戦ってはいけません。上の評価規準でお示したように、最も大切なことは「協調性」です。他者を否定することなく、他者の意見をしっかりと受け止めて、さらにそこに自分なりの「よりよい視点」を加えて提案していく態度が高く評価されます。個人面接は「自己アピールの場」ですが、**集団討論は「協調性のアピールの場」**だということをしっかりと認識した上で臨んでください。ここで目立つ必要はありませんし、無理に他者とのちがいをアピールする必要もありません。自分が最初に発表した解決策より、もっといい解決策が提案されたなら、自分の意見を変えるのも「あり」です。「いいとこどり」で構いませんので、よりよい解決策に近づけるように、提案することが大切です。

**同席した受験生は力を合わせて解決策を考える仲間！仲間とは戦わない！仲間の良い意見は積極的に利用して「よりよい解決策に近づける」ことを意識して発言する。**

## 集団討論に臨む際の心構え

- 発表されたテーマに関して、「その場で自分の意見をまとめる」のはなかなか難しい場合もあります。おすすめは、**ほかの受験生の意見を聞いたうえで、自分の意見を完成させることです。**そのために、真っ先に挙手するのではなく**2～3人の意見を聞いてから挙手するとよいです。**誰がどんな意見を言ったかは、メモを取っておきましょう。
- **司会を引き受けるのはお勧めしません。**なぜなら自分の意見だけでなく、議論の進行にも気を配らなければならないからです。討論が始まってシーンとして全く発言が出ない雰囲気であれば、司会を買って出てもよいですが、もしやりたがりの受験生がいたら、司会はその人に任せて、自分は、意見を発表することに集中しましょう。司会をやったからと言って評価が有利になることはありません。
- 他の受験生の話を聞いているときは、その受験生の方を見て、**相槌を打ち、うなずきながら、しっかり受け止めていることをアピールしましょう。**（メモを取ることは構いません）
- 発言の際は、相手の意見を否定してはいけません。かといって「私もAさんと全く同じ意見です」では、何も考えがないと思われる。おすすめは「私もAさんと同じですが、さらに～～という視点を追加することで今以上の成果が期待できると思います」のように、**他人の意見に自分の意見を被せて発表することで、好印象になります。**ポイントは「**相乗り・ちよいたし**」「**Yes・・・But・・・**」です。
- 発言の回数は決まっていますが0回はアウトです。かといって自分ばかり発言してほかの人の意見を聞かないのもダメです。目安として20分間で3～4回発言できればOKです。**発言の回数ではなくその内容（論理に矛盾がないか、前向きな提案をしているか、ネガティブな思考はしていないか）**を評価しています。
- 発言の長さも決まっていますが、目安としては30秒～1分間程度話すことを心がけましょう。発言で注意すべき点は、①**長く話しすぎないこと** ②**過激なことは言わないこと** ③**具体例を言うこと** ④**マウントはとらないこと** 等です。また逆に集団面接でさりげなくアピールすべきことは、①**傾聴力** ②**見た目の印象** ③**気配り** ④**修正能力（上記した「相乗り・ちよいたし」）**です。
- 集団面接だけで合否は決まりません。ただ面接官は5人の順位をつける必要があります。（実は**集団面接は相対評価**なので）従って**上位2人に入れば正規合格の可能性は高くなります。**好印象がポイントです。
- 服装はリクルートスーツが望ましいです。面接が行われる8月は暑い時期ですが、会場内は冷房が効いているので、ジャケット着用で臨んでください。**見た目の印象も評価の対象になる**ので、無精ひげ、髪型、など身だしなみは、こざっぱりと清潔感を意識してください。面接官はほぼ50代で保守的な感覚の人間が多いので、彼らの感覚にアジャストしていく必要があります。そのため、**アクセサリ類（ピアス・ネックレスなど）やネイルは避けたほうがよいでしょう。**

6月号でお示しましたが、現行の学習指導要領は育成すべき資質能力について以下の3点を取り上げて重視しています。

- ① 何を知っているか・何ができるか 【知識・技能 : Knowledge】
- ② 知っていること・できることをどう使うか 【思考力・判断力・表現力等 : Intelligence】
- ③ どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか 【学びに向かう力、人間性等 : Mind】

学習指導要領が示すこの3つの資質能力を高めるために実践していくことが、これからの教師・学校の Mission なのです。では具体的に皆さんは「チーム学校」の一員として、どのようにこの **Mission** に取り組めばいいのか考えていきましょう。

## ☆ Mission を達成するための教育活動を展開する際に必要な3つのステップ

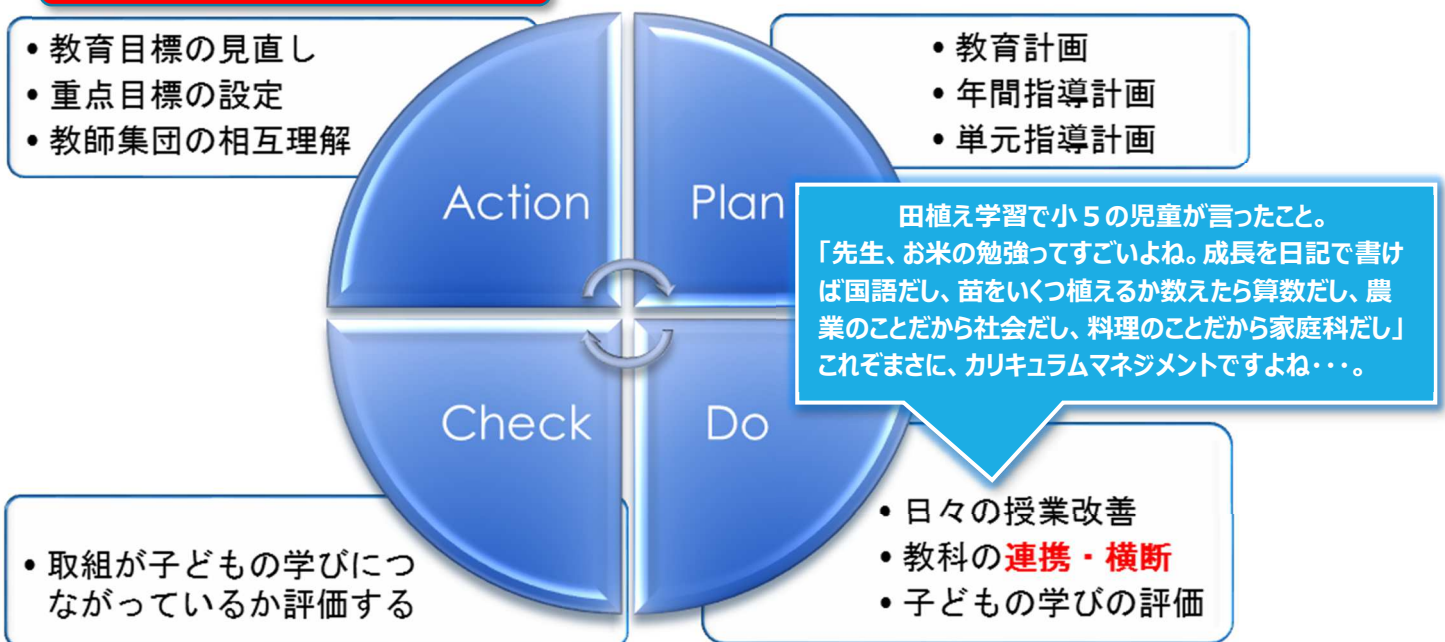


8月号で詳しく説明します

### ☆ 社会に開かれた教育課程とは・・・？

- ① 社会や世界の状況を広く視野に入れ、よりよい社会を創るという目標を持たせ
- ② 自らの人生を切り拓いていくために必要な資質・能力とは何か、を明快に示し
- ③ 学校教育の目指すところ (Mission) を社会と共有・連携しながら実現させる

### ☆ カリキュラムマネジメントとは・・・？



日常的に PDCA サイクルを意識して継続的に修正し続ける取り組み = マネジメント